

平成 19 年 3 月 20 日
福島県生活環境部原子力安全グループ

原子力発電所に関する情報について

このことについて、平成19年3月19日、原子力安全グループ宛に匿名で下記の内容の情報提供があり、関係機関に連絡いたしました。

< 情報提供の内容 >

志賀が初めてでなく、第一でもすでに50年代に同様の自然に制御棒が引き抜けることは経験済み。2本抜けた状況を経験している。運がよくそこでわかって再度入れたので問題にはならなかった。それ以降改善したので最近はないと思う。

2号機で高圧注水系、原子炉隔離時冷却系のどちらかの戻り弁を閉状態で運転した結果、弁が破損し、汚染水が大量に漏えいし、そのほとんどが一般排水溝から海へ流れた。残ったのは社員が徹夜で回収し、倉庫へ保管した。

このような件はいくらでもあり、膿を出し切るのは無理と思う。

以上